

報道関係者各位

 不動産の達人  
株式会社さくら事務所

## 新築工事チェックした住宅の3~4%で発覚！ 新築なのになぜ……?! 床が傾く理由と未然に防ぐ方法

業界初の個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組合向けコンサルティングを行う“不動産の達人株式会社さくら事務所”（東京都渋谷区／社長：大西倫加）では、**新築なのに床が傾いてしまっている場合の理由と未然に防ぐ方法**についてまとめました。詳しくは下記コラムをご覧ください。本件に関する取材やご質問がございましたらお気軽にお問い合わせください。

### 新築住宅の床が傾く3つの要因

#### 1. 施工精度

家は人が建てるものですので、たとえば木材同士の間隙が空いてしまったり、段差ができてしまったりすることもあります。一つ一つは微小な誤差だったとしても、それが積み重なって「傾き」という形で現れる可能性があります。

#### 2. 材料の凹凸や反り

木材は自然素材のため、多少の凹凸や反りが見られるものです。凹凸や反りが見られた場合、本来であれば現場でうまく調整して施工していくべきものですが、それを妥協したり、見落とししたりすると、床の傾きとなって現れてしまいます。

#### 3. 地盤沈下

建物全体を支えている地盤が沈下することによって、床に傾きが出ることもあります。家を建てる前の地盤調査や地盤改良の効果は「絶対」ではありません。地盤調査で穴を開けるのは、基本的に5箇所。その他の部分の地盤が柔らかければ、床が傾いてしまう可能性があります。

**⚠️ 床に傾きあった場合、次のようなリスクが考えられます！ ⚠️**

✓家具のガタつき ✓床鳴り ✓健康被害 ✓安全性・耐久性の低下 ✓資産価値の低下

詳しい解説はコラムでご紹介！

<https://www.sakurajimusyo.com/guide/36379/>

新築なのに床が傾いている?! その要因と未然に防ぐ方法を解説

疑問・質問がある方はお気軽にお問い合わせください。専門家が取材に対応させていただきます。

### さくら事務所について

1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。

株式会社さくら事務所

広報室：堤

 東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー101  [press@sakurajimusyo.com](mailto:press@sakurajimusyo.com) 03-6455-0726  FAX 03-6455-0022 <https://www.sakurajimusyo.com/>